



平成26年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月30日

上場会社名 株式会社キューソー流通システム
 コード番号 9369 URL <http://www.krs.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 岡宗 直樹
 (氏名) 笹島 朋有

TEL 042-441-0711

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第3四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第3四半期	111,996	4.4	1,801	1.1	1,917	△2.2	833	△9.5
25年11月期第3四半期	107,299	3.1	1,780	△15.7	1,960	△12.1	921	△24.8

(注)包括利益 26年11月期第3四半期 1,057百万円 (△18.6%) 25年11月期第3四半期 1,298百万円 (△14.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第3四半期	65.81	—
25年11月期第3四半期	72.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年11月期第3四半期	66,513	29,586	41.9
25年11月期	61,498	28,793	44.3

(参考)自己資本 26年11月期第3四半期 27,889百万円 25年11月期 27,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				期末	合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	8.50	—	9.50	18.00	18.00
26年11月期	—	9.00	—	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	146,500	1.8	2,600	8.9	2,650	1.5	1,250	0.3	98.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年11月期3Q	12,677,900 株	25年11月期	12,677,900 株
② 期末自己株式数	26年11月期3Q	9,044 株	25年11月期	9,034 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年11月期3Q	12,668,856 株	25年11月期3Q	12,669,078 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府が推進する経済政策や金融緩和政策により、輸出産業を主とした企業収益や設備投資が持ち直し、景気は緩やかな回復傾向が続いているものの、消費税引き上げ後の個人消費の変化などもあり、依然として先行き不透明な状況のまま推移しました。

食品物流業界におきましては、燃料調達単価の上昇や物流業者間の価格競争による受託料金の低下に加え、人手や車両不足、法改正への対応、食の安全・安心に応える物流品質向上への投資など厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、新グループ経営体制の確立による食品物流総合力ナンバーワンをめざすべく、「新たな展開の推進」「事業基盤の強化」「人材育成と物流品質の向上」の3つを基本方針とした中期経営計画(2013年度から2015年度)を推進しております。2年目にあたる平成26年度(2014年度)は、「意思決定のスピード化と施策を確実に実行していく年」としてネットワークの構築や収益力の強化に取り組んでおります。

営業収益は、食品メーカーなどを得意先とする共同物流事業の既存取引とコンビニエンスストアやチェーンストアなどの流通業を得意先とする専用物流事業の既存取引が拡大し増収となりました。

利益面は、燃料調達単価・電気料金の上昇に加え、人手や車両不足にともなう物流コストの増加などが影響したものの、売上高増加による利益増と業務の標準化や運送業務などの合理化改善が進捗しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益は1,119億96百万円と前年同期に比べ46億96百万円(4.4%増)の増収となり、営業利益は18億1百万円と前年同期に比べ20百万円(1.1%増)の増益、経常利益は19億17百万円と前年同期に比べ42百万円(2.2%減)、四半期純利益は法人税等が増加し8億33百万円と前年同期に比べ87百万円(9.5%減)の減益となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

(共同物流事業)

共同物流事業収益は、新規・既存取引の拡大により増収となりました。利益面は、燃料調達単価・電気料金の上昇に加え、人手や車両不足にともなう物流コスト増などの影響を受けたものの、売上高増加にともなう利益増と業務の標準化や運送業務の合理化改善などが進捗しました。

この結果、共同物流事業収益は615億17百万円と前年同期に比べ22億85百万円(3.9%増)の増収、営業利益は7億53百万円と前年同期に比べ17百万円(2.4%増)の増益となりました。

(専用物流事業)

専用物流事業収益は、コンビニエンスストアやチェーンストアなど既存取引の拡大により増収となりました。利益面は売上高増加にともなう利益増はあったものの、新センター稼働に伴う減価償却費の増加、燃料調達単価上昇によるコスト増などの影響があり減益となりました。

この結果、専用物流事業収益は452億51百万円と前年同期に比べ20億12百万円(4.7%増)の増収、営業利益は8億68百万円と前年同期に比べ40百万円(4.4%減)の減益となりました。

(関連事業)

関連事業収益は燃料販売数量や車両販売などが増加し52億27百万円と前年同期に比べ3億99百万円(8.3%増)の増収、営業利益は1億97百万円と前年同期に比べ43百万円(28.7%増)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ50億14百万円増加し665億13百万円となりました。資産の増加の主な要因は、有形固定資産の増加27億75百万円、受取手形及び営業未収入金の増加20億63百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ42億22百万円増加し、369億27百万円となりました。負債の増加の主な要因は、未払費用等の減少による流動負債その他の減少6億91百万円はありましたが、長期借入金の増加27億98百万円、短期借入金の増加8億85百万円、および支払手形及び営業未払金の増加11億31百万円などによるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べ7億92百万円増加し、295億86百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加5億99百万円および少数株主持分の増加1億16百万円などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ1億53百万円増加し27億1百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、23億96百万円（前年同期は17億58百万円の収入）となりました。これは主に、売上債権の増加、法人税等の支払による減少はありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上、減価償却費および仕入債務の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、51億59百万円（前年同期は36億48百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、29億9百万円（前年同期は20億71百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出およびリース債務の返済による支出はありましたが、長期借入れによる収入によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しについては、燃料調達単価・電気料金の上昇に加え、人手や車両不足などによる物流コストの増加が予想され、厳しい経営環境が続くものと思われま

す。このような状況のなか、当社グループは、得意先への改善提案を継続し、更なる業務の効率化、運送・保管のコスト削減を推進してまいります。

現時点においては、平成26年7月3日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,548	2,701
受取手形及び営業未収入金	17,708	19,772
商品	179	156
貯蔵品	78	96
その他	1,683	1,965
貸倒引当金	△5	△1
流動資産合計	22,193	24,691
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,696	9,580
機械装置及び運搬具(純額)	3,072	4,590
工具、器具及び備品(純額)	319	385
土地	14,583	17,106
リース資産(純額)	2,017	1,945
建設仮勘定	4,193	48
有形固定資産合計	30,880	33,656
無形固定資産		
投資その他の資産	397	454
投資有価証券	1,799	1,871
敷金及び保証金	3,596	3,524
その他	2,670	2,356
貸倒引当金	△39	△42
投資その他の資産合計	8,026	7,709
固定資産合計	39,305	41,821
資産合計	61,498	66,513

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	12,120	13,252
短期借入金	3,797	4,682
未払法人税等	652	467
賞与引当金	724	983
役員賞与引当金	81	61
その他	7,789	7,097
流動負債合計	25,165	26,544
固定負債		
長期借入金	3,710	6,509
退職給付引当金	562	535
その他	3,265	3,338
固定負債合計	7,538	10,382
負債合計	32,704	36,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,063	4,063
資本剰余金	4,209	4,209
利益剰余金	18,574	19,174
自己株式	△12	△12
株主資本合計	26,835	27,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	308	380
繰延ヘッジ損益	△15	△18
為替換算調整勘定	84	92
その他の包括利益累計額合計	377	454
少数株主持分	1,580	1,696
純資産合計	28,793	29,586
負債純資産合計	61,498	66,513

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
営業収益	107,299	111,996
営業原価	102,907	107,632
営業総利益	4,392	4,364
販売費及び一般管理費	2,611	2,563
営業利益	1,780	1,801
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	77	18
受取賃貸料	67	53
持分法による投資利益	5	—
補助金収入	2	26
デリバティブ評価益	118	40
その他	68	104
営業外収益合計	345	251
営業外費用		
支払利息	55	75
貸与設備諸費用	33	29
持分法による投資損失	—	2
為替差損	56	5
その他	20	22
営業外費用合計	166	134
経常利益	1,960	1,917
特別利益		
固定資産売却益	56	73
投資有価証券売却益	1	54
特別利益合計	57	127
特別損失		
固定資産除売却損	39	29
リース解約損	2	13
減損損失	57	—
その他	0	4
特別損失合計	99	47
税金等調整前四半期純利益	1,917	1,998
法人税、住民税及び事業税	1,027	1,035
法人税等調整額	△157	△11
法人税等合計	869	1,024
少数株主損益調整前四半期純利益	1,048	974
少数株主利益	127	140
四半期純利益	921	833

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,048	974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	146	78
繰延ヘッジ損益	△9	△3
為替換算調整勘定	113	8
その他の包括利益合計	249	83
四半期包括利益	1,298	1,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,153	910
少数株主に係る四半期包括利益	145	146

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,917	1,998
減価償却費	2,275	2,544
減損損失	57	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	444	258
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△24	△27
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1	△19
受取利息及び受取配当金	△83	△25
支払利息	55	75
持分法による投資損益(△は益)	△5	2
投資有価証券売却損益(△は益)	△1	△54
有形固定資産売却損益(△は益)	△52	△70
有形固定資産除却損	35	27
売上債権の増減額(△は増加)	△2,355	△2,062
たな卸資産の増減額(△は増加)	1	5
仕入債務の増減額(△は減少)	1,448	1,329
長期未払金の増減額(△は減少)	△18	△109
その他	△657	△190
小計	3,037	3,675
利息及び配当金の受取額	90	29
利息の支払額	△55	△75
法人税等の支払額	△1,345	△1,241
法人税等の還付額	31	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,758	2,396
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,697	△5,191
有形固定資産の売却による収入	77	84
無形固定資産の取得による支出	△123	△151
投資有価証券の取得による支出	△169	△15
投資有価証券の売却による収入	21	118
貸付けによる支出	△31	△31
貸付金の回収による収入	273	33
その他	1	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,648	△5,159

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	750	350
長期借入れによる収入	3,508	4,000
長期借入金の返済による支出	△989	△666
社債の償還による支出	△500	—
リース債務の返済による支出	△458	△508
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△216	△234
少数株主への配当金の支払額	△22	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,071	2,909
現金及び現金同等物に係る換算差額	91	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	272	153
現金及び現金同等物の期首残高	2,251	2,548
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,524	2,701

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	59,231	43,239	4,828	107,299	—	107,299
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	6,215	1,948	3,006	11,171	△11,171	—
計	65,447	45,188	7,835	118,471	△11,171	107,299
セグメント利益	735	908	153	1,797	△16	1,780

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「専用物流事業」において、売却の意思決定をした店舗の資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、57百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	61,517	45,251	5,227	111,996	—	111,996
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	6,428	2,134	3,590	12,154	△12,154	—
計	67,945	47,386	8,818	124,150	△12,154	111,996
セグメント利益	753	868	197	1,818	△17	1,801

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。